

フクシマ連帯キャラバン報告書

日本海地方伏木支部
地方青年部長 平井直樹

今回、初めてフクシマ連帯キャラバンに参加させていただきました。昨年までは日本海地方からの参加者は1名でしたが、本年より2名の参加となり、これまで以上にキャラバンを経験できる青年部が増えたことは、日本海地方各支部にとっても大変喜ばしいことだと感じました。

特に、地方定期大会での青年部からの発言を受け、参加枠を1名から2名へと拡大していただいた日本海地方本部のご配慮に、心より感謝申し上げます。おかげさまで、私自身も貴重な学びの機会を得ることができました。

また、今回のキャラバンでは、小名浜支部の皆様にご受け入れ先として多大なるご尽力をいただきました。慣れない土地での活動に不安もありましたが、温かいご対応と細やかなサポートのおかげで、安心して行動に臨むことができました。

初日の結団式では、各単組による自己紹介が行われ、一人ひとりの熱い思いや決意を伺い、身の引き締まる思いでした。

2日目は、津島地区の島見学会および伝承館の見学を行いました。伝承館では、地震や津波により平穏な日常や家族・友人との思い出を失われた方々の写真や映像を拝見し、今後このような悲劇を二度と繰り返してはならないと強く感じました。

3日目には、茨城県内各地で要請行動を実施しました。原発再稼働に対する考え方は、賛成・反対の双方が存在し、明確な立場を示していない自治体もあるなど、地域によって温度差があることを実感しました。

4日目の最終日には、東京・代々木公園で全国集会が開催されました。キャラバン隊団長の熱意ある発言もあり、キャラバン隊および会場全体が一体となった雰囲気を感じました。

4日間を通じて、テレビやニュースでは伝わらない現地の声や現状に触れることができ、大変貴重な経験となりました。この経験を踏まえ、今後はより一層、反対運動に積極的に参加していきたいと考えています。また、今回得た学びや感じたことを、しっかりと組合員に伝えていきたいと思えます。

改めて、参加枠の拡大によりこの機会を与えてくださった日本海地方本部、そして受け入れに尽力いただいた小名浜支部の皆様へ深く感謝申し上げます。